



但馬水産技術センターだより



漁況情報（G2339号）

令和5年10月27日
兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

令和5年漁期 ズワイガニ資源の状況について

調査船「たじま」の調査結果などから見た今期のズワイガニ資源の状況について報告します。

1. 推定された資源の状況

解禁直後（但馬沖漁場）

解禁直後における但馬沖漁場でのオスがにの推定現存尾数は前年を下回ったものの、過去5年平均並みでした。メスがに（クロコ）の推定現存尾数は前年及び過去5年平均を上回りました。

漁期全般（浜田沖～丹後沖漁場）

本県沖合底びき網漁船が漁期を通じて利用する浜田沖～丹後沖漁場全体におけるズワイガニ資源量は、オスがにが前年並み、メスがにが前年をやや上回ると推定されています。

2. 根拠となった情報

解禁直後（但馬沖漁場）

調査船「たじま」によるズワイガニ漁期前調査（調査月：10月）

調査船「たじま」により、2023年10月13、16～17、18日に香住沖の水深200～350mおよび津居山沖、浜坂沖の水深235～245mに設けた計14定点（図1）においてトロール網（3ノット、30分曳き）による試験操業を実施しました。

オスがにには、香住沖及び浜坂沖の水深245mでまとまった入網があり（表1）、入網結果から推定された但馬沖漁場における推定現存尾数は6.0万尾で、前年比65.9%、過去5年平均比は102.0%となりました（表2）。

メスがにには、香住沖及び浜坂沖の水深240～245mでまとまった入網があり（表1）、入網結果から推定された但馬沖漁場における推定現存尾数は21.4万尾で、前年比158.5%、過去5年平均比147.2%となりました（表2）。

なお、前年度及び今年度調査で入網したズワイガニの甲幅組成は図2のとおりです。

漁期全般（浜田沖～丹後沖漁場）

水産研究・教育機構 水産資源研究センター底魚資源部調査（調査月：5～6月）

水産研究・教育機構 水産資源研究センター底魚資源部は、A海域（富山県以西）における2023年漁期当初の資源量をオスがにが前年並み、メスがにが前年をやや上回ると推定しています（図3）。

3. その他の情報

- 香住沖の水深 200mにおいてミズがにが、香住沖の水深 235mにおいてメスがに（アカコ）が多く入網しました。また、水産研究・教育機構による調査でもミズがに及びアカコが多いと推定されており、他の漁場でも多く入網する可能性があります。11 月は再放流後の生残率が低いため（山崎ら 2011、2013）、それらが多く混獲される海域で操業する場合、迅速な再放流に努めてください。（次漁期には、ミズがにが大型のミズがにもしくはオスがにとして、アカコがクロコとして漁獲可能となります。）
- 2025 年以降に漁獲対象となる 10 歳以下の若齢個体は、過去 5 年と比較すると多く推定されています。若齢がにも 11 月における再放流後の生残率が低いため、それらが多く混獲される海域での操業は控えてください。
- アカガレイの平均入網重量は 7.2kg で、前年の平均入網重量 17.3kg を下回りました（表 1）。
- 大型クラゲの入網は確認されませんでした（表 1）。

以上、解禁初日の漁場選択の参考にしてください。

お問い合わせ先：兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター（担当：田村・岸本・大谷）

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

E-mail：nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

HP：<http://hyogo-suigi.jp/tajima/>

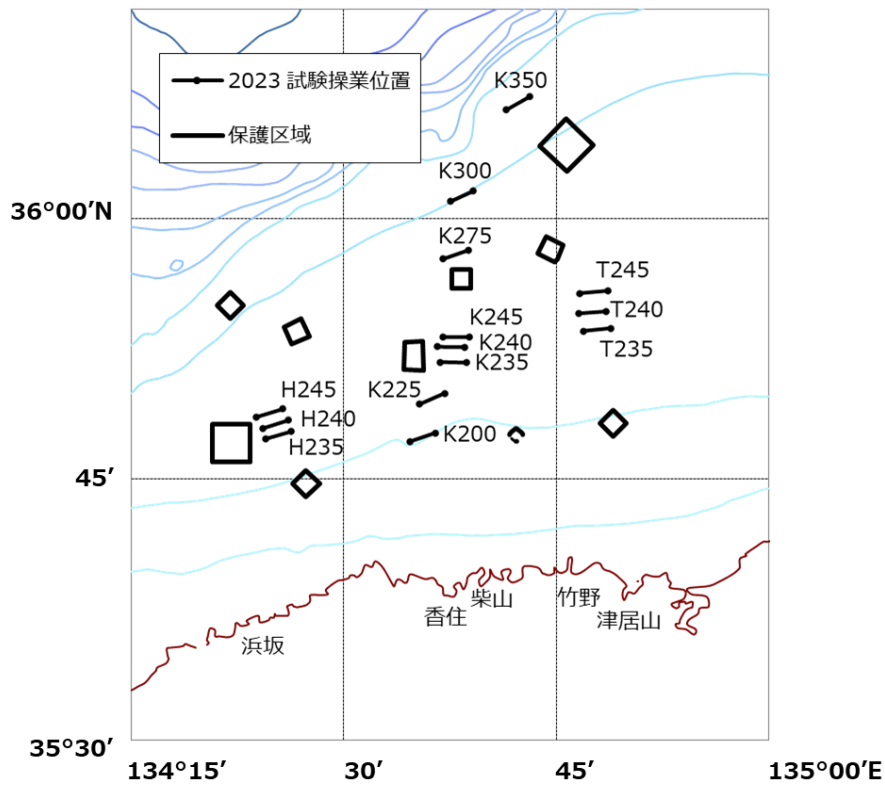


図 1 但馬沖調査海域図

表 1 漁場別のズワイガニ等入網状況

漁場	年月日	操業地点	曳網水深 (m)	ズワイガニ 入網数 (尾/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	大型クラゲ 入網重量 (kg/網)
				オスガに*1	メスガに*2	メスガに (クロコ)		
津居山・ 竹野沖	2023/10/18	T245	246 → 247	5	13	7	4.3	0.0
	"	T240	240	5	4	33	0.7	0.0
	"	T235	235 → 236	3	4	52	1.6	0.0
香住沖	2023/10/17	K350	348 → 345	2	2	0	0.5	0.0
	"	K300	304 → 305	2	1	0	11.5	0.0
	"	K275	278 → 277	6	6	0	13.3	0.0
	2023/10/16	K245	250 → 245	23	6	134	3.7	0.0
	"	K240	247 → 241	9	5	136	4.1	0.0
	"	K235	240 → 232	6	0	0	9.2	0.0
	"	K225	224	0	6	0	33.0	0.0
"	K200	200	0	90	0	1.0	0.0	
浜坂沖	2023/10/13	H245	246	19	1	158	7.7	0.0
	"	H240	240	8	4	94	8.8	0.0
	"	H235	236	5	4	0	2.0	0.0

* 1 : かたがに (12 歳以上 (甲幅 94mm 以上) 、硬甲、ハサミ大)

* 2 : 11 歳 (甲幅 72~93.9mm) でハサミが小さく、脱皮前の個体
および 12 歳以上 (甲幅 94mm 以上) でかたがに以外の個体

表2 調査海域におけるズワイガニの推定現存尾数（単位：万尾）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	前年比	過去5年平均	過去5年平均比
オスガに	4.3	2.7	4.7	8.6	9.1	6.0	65.9%	5.9	102.0%
ミスガに	28.1	8.6	23.8	34.8	26.8	26.9	100.4%	24.4	110.2%
メスガに (クロコ)	8.8	5.9	8.8	35.7	13.5	21.4	158.5%	14.5	147.2%

※採集効率は1.0とし、東経134°20'～134°50'（居組～津居山間）で水深190～360mの範囲における推定現存尾数

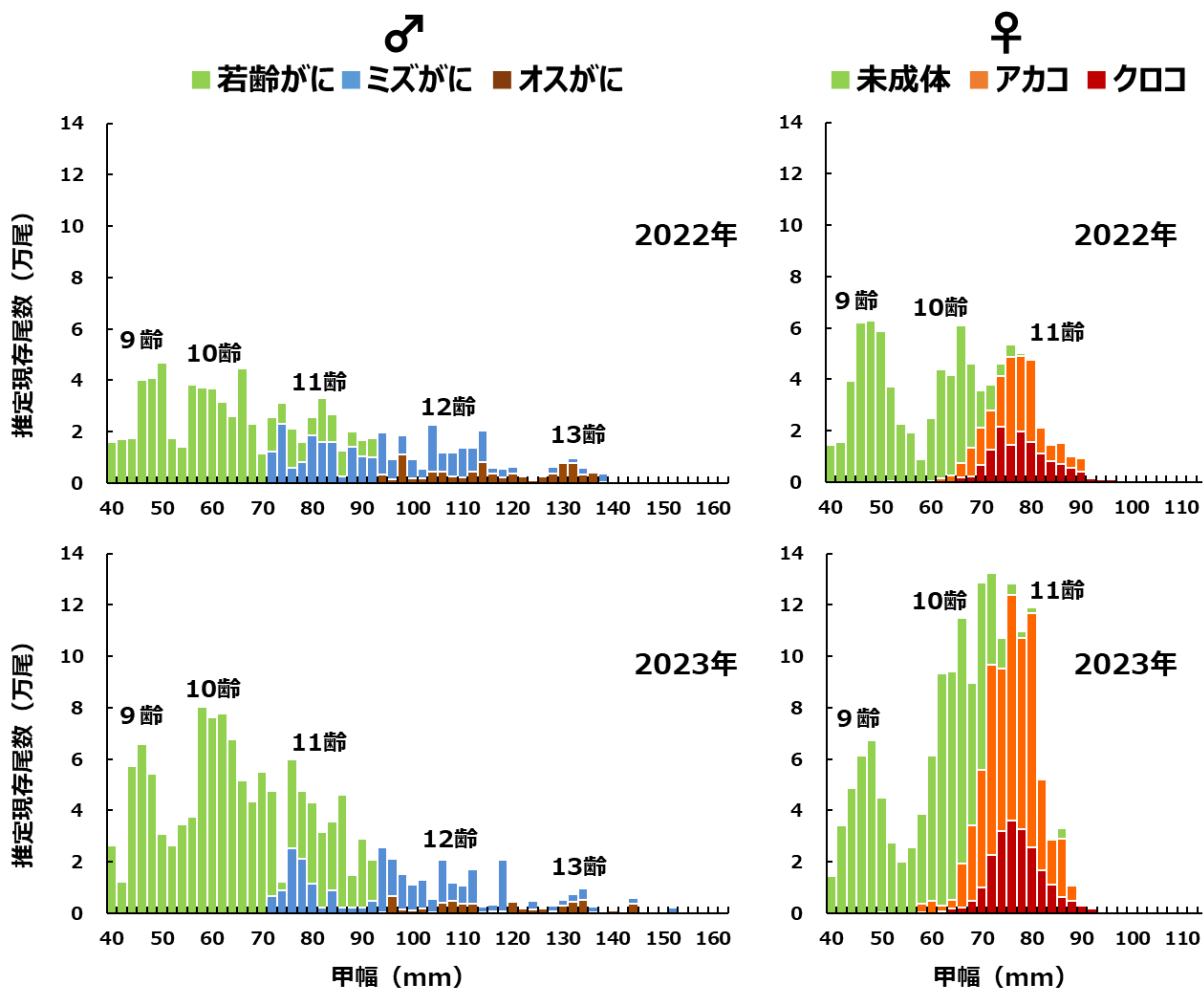


図2 2022、2023年のズワイガニ漁期前調査結果から得られたズワイガニの甲幅組成
(10月、但馬沖漁場)

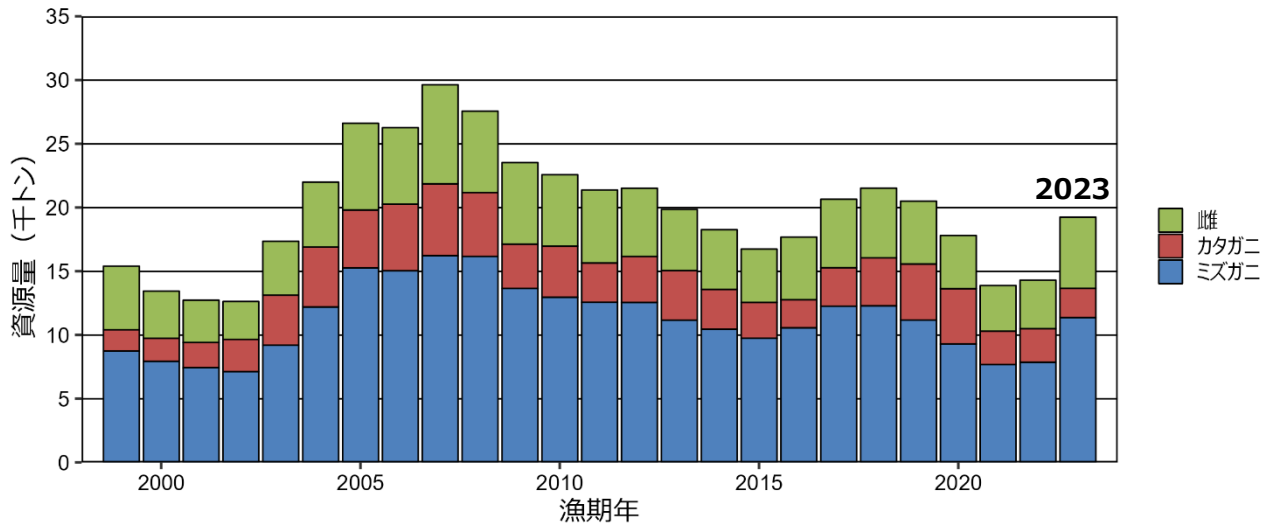


図3 日本海A海域（富山県以西）における推定漁獲対象資源量
 （水産研究・教育機構 水産資源研究センター底魚資源部 作成資料より）